あのときの常呂・写真館

VOL 61

（１９７６年）

昭和５１年５月２９日
町民センター落成・オープン

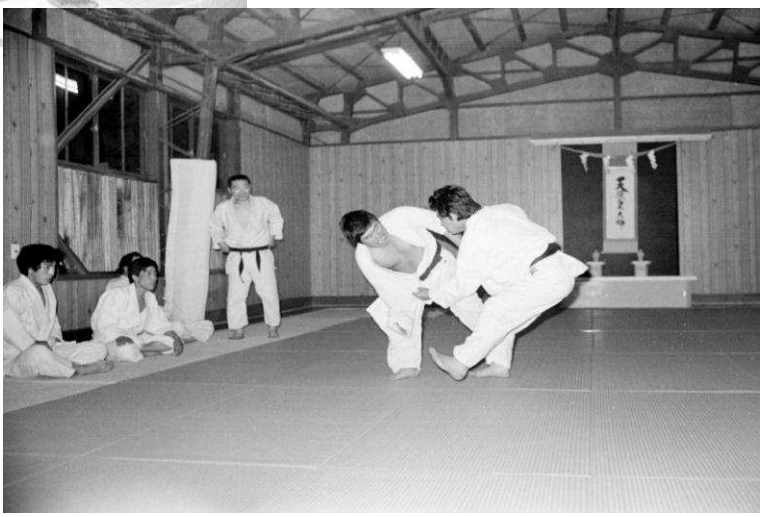
▶昭和４９年に常呂中学校が統合中学校として現在の場所に新築移転しました。旧常呂町は、その旧校舎の一部や敷地を活用しながら住民活動・社会教育活動の拠点としてスポーツセンターを建設し、旧常呂中学校の校舎と敷地を武道館・団体室・研修室・第２体育館・運動広場・弓道場として利用することで総合的な施設づくりを計画していました。また、そうした計画に基づく施設を総称して「町民センター」と呼び、スポーツセンターを中核施設と位置付けていました。

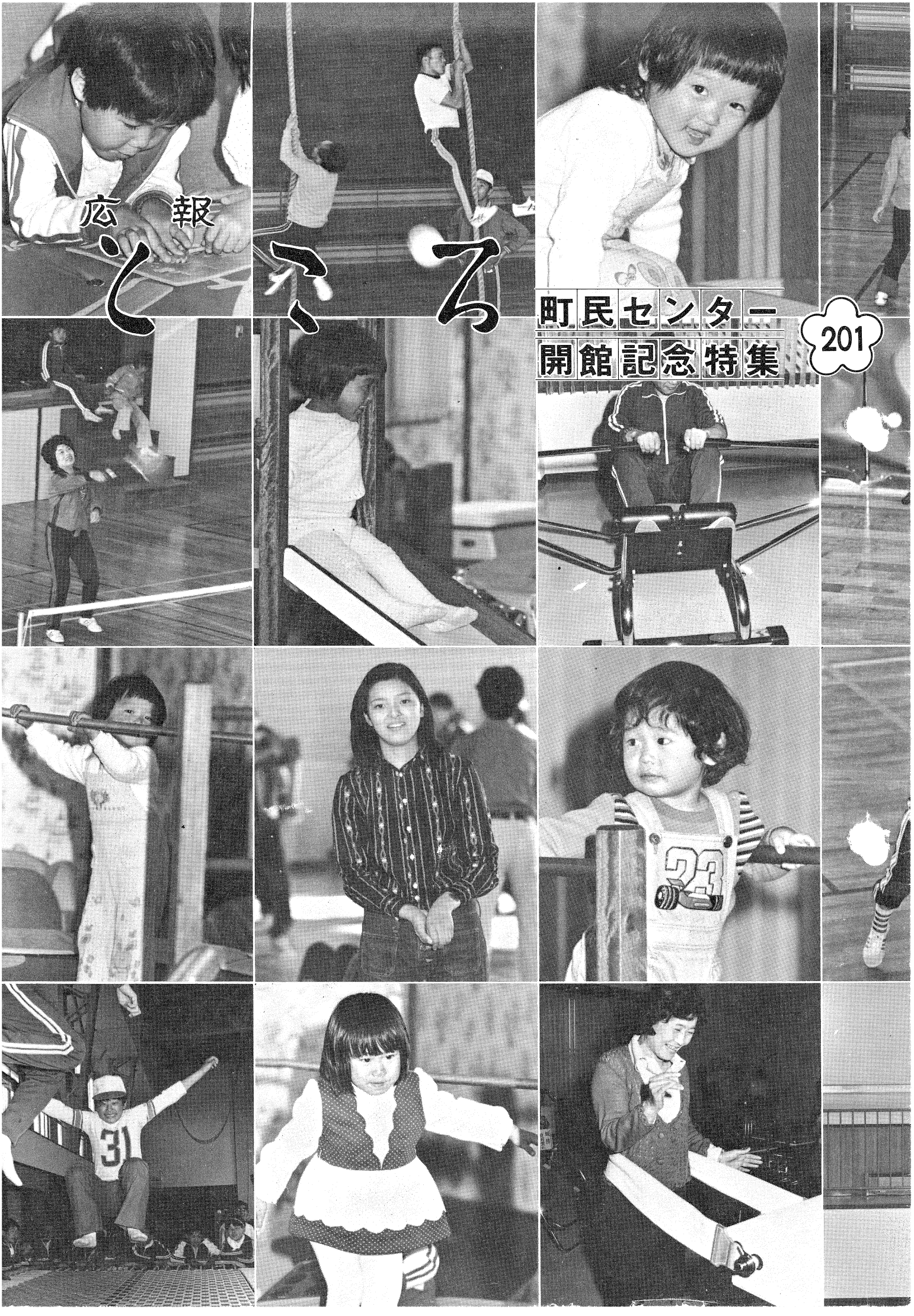
▶この町民センターのオープンに際し、常呂町は「広報ところ」の「号外…一日オープン」と「町民センター特集号」の２つを通常の広報とは別に発行しています。町民センターに対する期待の大きさが分かります。

▶３ページ以降に「広報ところ　町民センター特集号」を付けました。町民センターの概要が分かります。

上：落成式では、５月に結成したばかりの常呂混声合唱団が歌声を初披露（曲目は不明）

上：５月２２日に「一日オープン」したときのトランポリン体験など
左：旧常呂中学校校舎を活用した武道館の落成式と柔道の初稽古




広報
とべ
町民センター
開館記念特集
201

―いよいよ開館 盛大に落成式

私たち町民が待ち望んでいた《町民センター》が、いよいよ開館することになりました。幼児からお年寄りまでのだれもが、気軽に利用できる、幅広い町民活動の拠点となる施設です。『……町民憲章にのっとり、町民の体力づくり、健康の増進および生活文化の向上を図るため……』（〝町民センター条例〟から）のこの施設を、私たちは有効に、大切に使いたいものです。二十二日の〝一日オープン〟に来られた方は、すでにご存じとは思いますが、この『開館記念特集号』では、《町民センター》のあらましや利用方法などについて、詳しくお知らせしたいと思います●●●

町民の願いが生んだ近代施設
大事に使おうみんなの財産

町では《充実した教育と、文化の香り高い町づくり》を目標に、町民のさまざまな学習意欲にこたえられるよう、きめ細かな学習計画をたててきました。

しかし、これまでは幼児からお年寄りまで、町民のだれもがそこへ来て、一緒に汗を流すことができるような場所がなく、学習計画もある程度、限定的なものとならざるを得ない状況にありました。

このため、多くの町民から『だれもが利用できる〝総合体育館〟のような施設がほしい』との声が強く出ていました。

これを受けて、町では統合中学校（現、常呂中学校）の完成で、使われなくなった旧中学校の跡地に、〝ファミリースポーツセンター〟の建設を、」――実現の運びとなりました。

一方、同センター完成後の、施設の位置づけや運営について検討をすすめていた、町議会をはじめとした各関係機関の意見として、『環境面や立地条件からみても、単に体育施設のみにとどまらず、あの一帯を〝町民センター〟として位置づけ、生活や文化の向上を図ることも含めた、町民活動の拠点的な場とすべきではないか』との提起がなされました。

結論的に、長期的な展望に立って、あらゆる町民活動の拠点となり得る〝町民センター〟として位置づけ、このほどの開館をワン・ステップに、今後とも整備計画をすすめていくことになりました。

町民の願いが生んだこの施設はみんなの財産――大切に……。

松平バレーボール教室など
多彩な記念事業

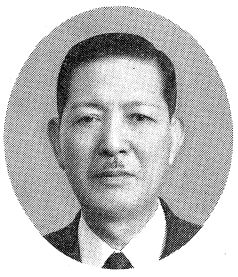
町民センターの落成を記念して、七月から九月にかけ、六つの〝記念事業〟が予定されています。

事業の選定にあたっては、できるだけ多くの町民に楽しんでもらえるようにと配慮しました。

詳しい事業の内容については、後日お知らせします。現在予定している事業は次のとおり。

◆寺内タケシ&ブルージーンズ公演＝七月二十日・青年会議主催　◆道民スポーツ大会（三百歳バレーボール）＝七月二十五日・町主催。◆松平康隆バレーボール教室＝八月十日・体育協会主催。◆劇団たんぽぽ公演＝九月上旬・文化連盟主催。◆ユニチカバレーボールチーム公開練習＝九月二十五日体育協会主催。◆モントリオールオリンピックマラソン選手強化合宿＝未定・体育協会主催。（道民スポーツ大会を除き、協賛はいずれも町）

憲章のこころ生かし
町長　上杉武雄



山々の新緑がひときわ映えるきょう、町民待望のスポーツセンターが竣工、開館の運びとなりましたことは、町民各位と共に誠に慶びにたえません。

今なお、運動公園をはじめ、諸施設を整備中でありますが本町ではこの地域に、今後継続的に屋内プールや文化センター等を建設すべく計画を進めており、これら施設を総合して《町民センター》と名づけ、住民活動の拠点としていく構想を抱いていることは、すでに町民各位にはご案内のとおりです。

町民憲章の一項であります〝体をつよくし、心すこやかな明るい町にしましょう〟を重点実践事項とし、このたび近代建築の粋をこらしたスポーツセンターが完成し、多数の町民が活用されていくことは、町民の体位向上と健康の増進に貢献できるものと、確信するものであります。

終わりにあたり、本〝町民センター〟の建設に際し、深い理解と協力をいただきました町民各位に、心からの敬意を表します。

町民センター 29日、

町民センター――それは本当の意味で《開かれた町民の場》である。あらゆる町民活動の場づくりが、将来構想に盛り込まれていく
（町民センターの中核をなすファミリースポーツセンター）

幼児から老人まで…だれもが
ファミリースポーツセンター完成

町民センターの中心的な施設である〝ファミリースポーツセンター〟が、完成しました。

幼児からお年寄りまでのだれもが、その目的に応じた体力づくりをすることができるこの施設は、鉄骨コンクリート、二階建てで、総面積は二千三百二平方㍍。

総事業費（建築・給排水衛生設備・電気設備の各工事費、運動機器・庁内備品の各講入費）は、二億八千四百万円という超豪華版。

アリーナ（競技場）をはじめ、幼児が安全に遊ぶことができるプレイルーム（遊戯室）や、美容効果から筋力の増強まで、幅広い要求にこたえられるトレーニングルーム、急病人のための医務室、シャワールームつきの更衣室、その他、ステージや軽食コーナー、会議室、幼児用の仮眠室など、あらゆる近代設備が集中している〝町民の広場〟――それが、私たちのファミリースポーツセンターです。

なお、各施設のあらましについては、6㌻から9㌻に詳しく紹介しました。

全戸に〝なわとび〟配布

町民センターの開館と、ファミリースポーツセンターの落成を記念して、常呂町の全世帯に一本ずつ、なわとび用のロープをプレゼントします。

これは、〝なわとび〟があらゆるスポーツの基本であり、しかもだれにでも手軽にできるなど、町民の健康の増進に役立つことから選ばれたものです。

この記念品は、近く各地区の区長さんを通して配布されますが、ただ眠らせておくだけではなく、大いに活用してもらいたいものです。

なお、町では六月六日（日）に行われる〝町民ピクニック〟の会場で、『町民なわとび選手権大会』（仮称）を開く計画も立てています。

通常利用は6月1日から

町民センターの通常的な利用開始は、準備の都合などの理由で、六月一日（火）からとします。まだ一度も来館していない方は、一日以降、まず入ってみてください。

委員長に上杉さん
センター運営委員

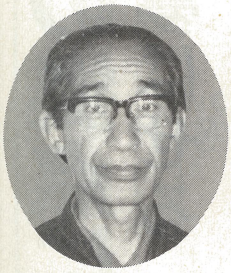
センター所長の諮問機関である《町民センター運営委員》が、このほど決まりました。

運営委員は、所長の諮問に応じて、センターの運営や管理、事業の企画、実施などについて協議するもので、定数は十五人以内。学校、社会教育関係団体、事業所の代表者と、学識経験者とで構成されています。

任期は二年で、年三回の定例会議を開くほか、必要に応じて臨時会議をもつことになっています。これまですでに二回の会議を開いており、センターの運営、管理などについて意見を述べています。

運営委員は次のとおり。

◇委員長＝上杉隆昌（本通）◇副委員長＝小山内茂雄（栄町）◇委員＝富永定継（末広）氏原耕一（富丘）武藤章代（開進町）中台泰士（本通）小笠原敬（豊浜）斎藤正雄（共立）佐藤鉄男（大通西）高橋正義（大通）新谷淳治（豊浜）高橋静雄（大通）引地正志（開進町）西沢芳雄（末広）新谷裕彦（豊浜）＝以上、敬称略。



委員長
上杉　隆昌さん

副委員長
小山内茂雄さん

これが町民センター

幅広い町民活動の拠点に
「将来構想」へと夢はせる

左に示した図は、将来的な構想をも含めた、町民センターの計画図です。

町民センターの各施設を、大まかに分類すると、赤い文字で示してある次の四つに分けることができます。

そのひとつは、町民センターの中核となる〝ファミリースポーツセンター〟(研修室、団体室、第二体育館などの付属施設を含む)です。第二体育館については、当面は卓球、剣道、バスケットボールの各種団体に開放し、一般の使用は許可しませんが、将来的にはここをプールとする計画をもっています。

〝運動公園〟は、現在整備中の町営グラウンド(野球場の部分)と、将来予定しているソフトボール場(陸上用グラウンドを兼ねる)テニスコート三面とから成ります。

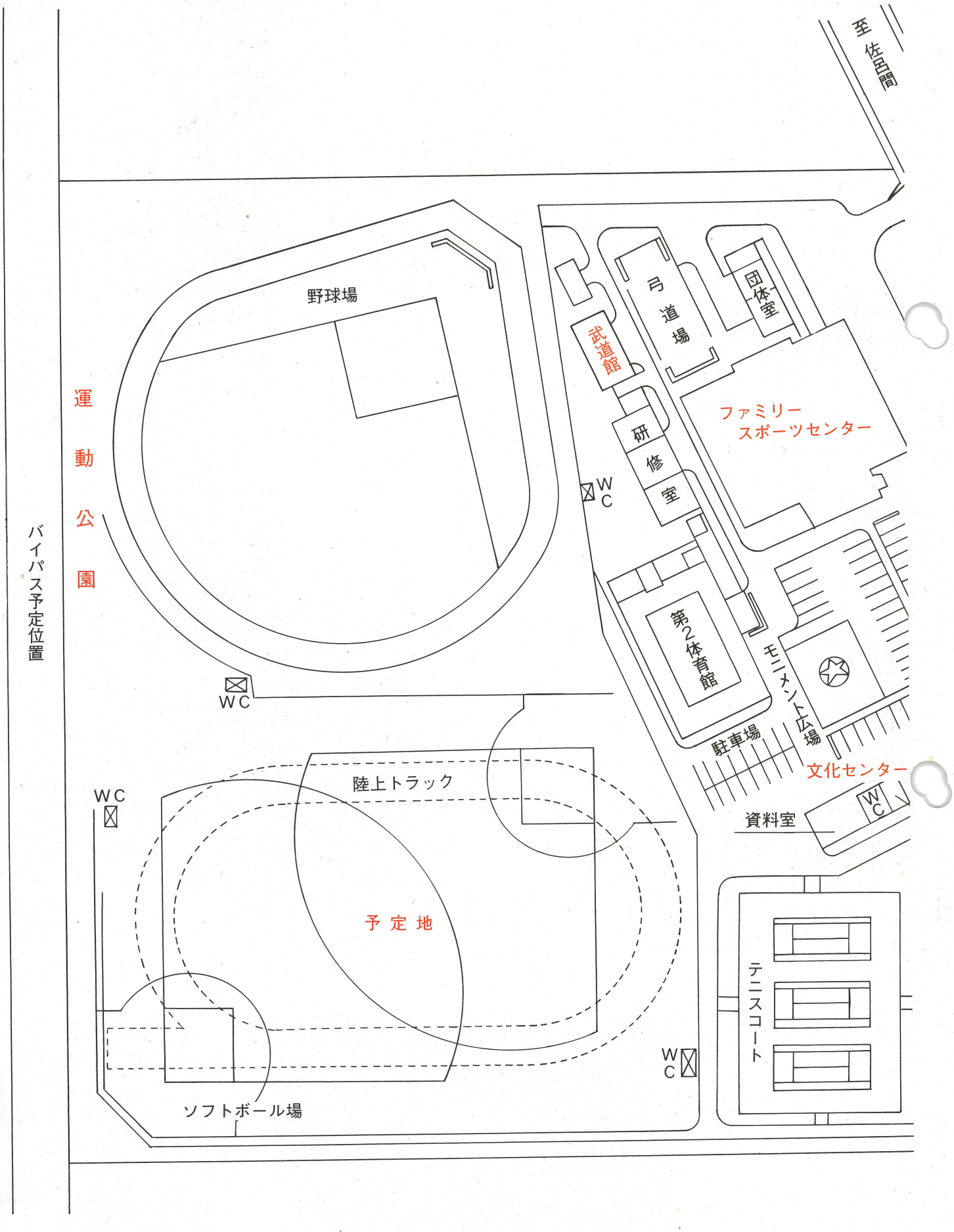
〝文化センター〟も整備中ですが、ここを各文化団体に開放し、あわせて開拓資料の展示室をも計画しています。

〝武道館〟では、柔道と空手を対象とし、すでに新しい畳を敷きつめてあります。

また、国道沿いの花木公園は、①を〝ボーイスカウトの森〟に、②を子供会に開放、将来をになう子供たちの夢をつちかう場としたい—と、考えています。

なお、これらのいくつかは、いずれも計画であり、変更されることもあります。

広報ところ


至佐呂間
野球場
運動公園
武道館
弓道場
団体室
ファミリースポーツセンター
研修室
WC
第2体育館
モニメント広場
駐車場
文化センター
資料室
WC
WC
陸上トラック
予定地
WC
ソフトボール場
テニスコート
バイパス予定位置

ファミリースポーツセンターってなあに？

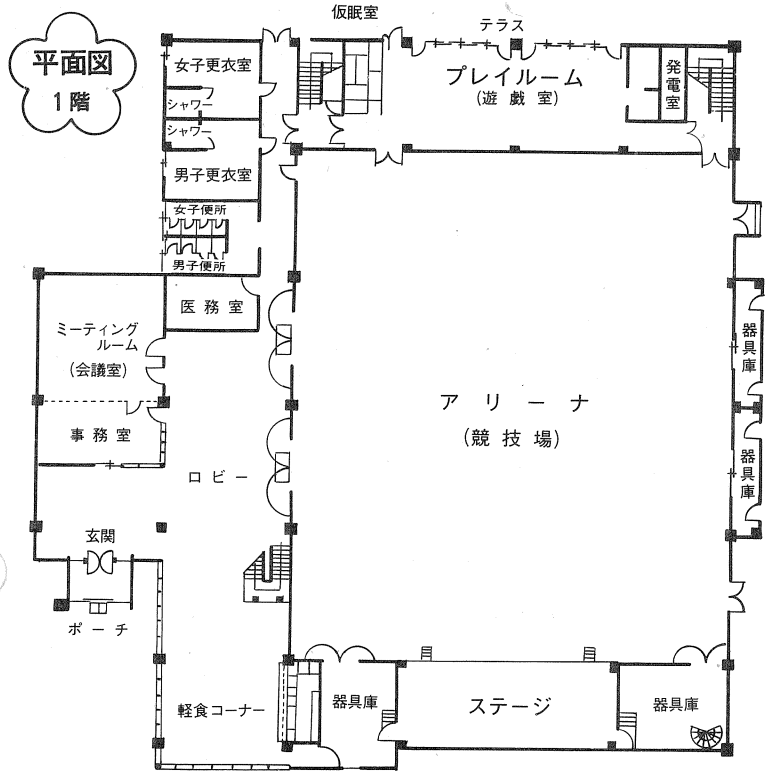
写真でみる施設のあらまし

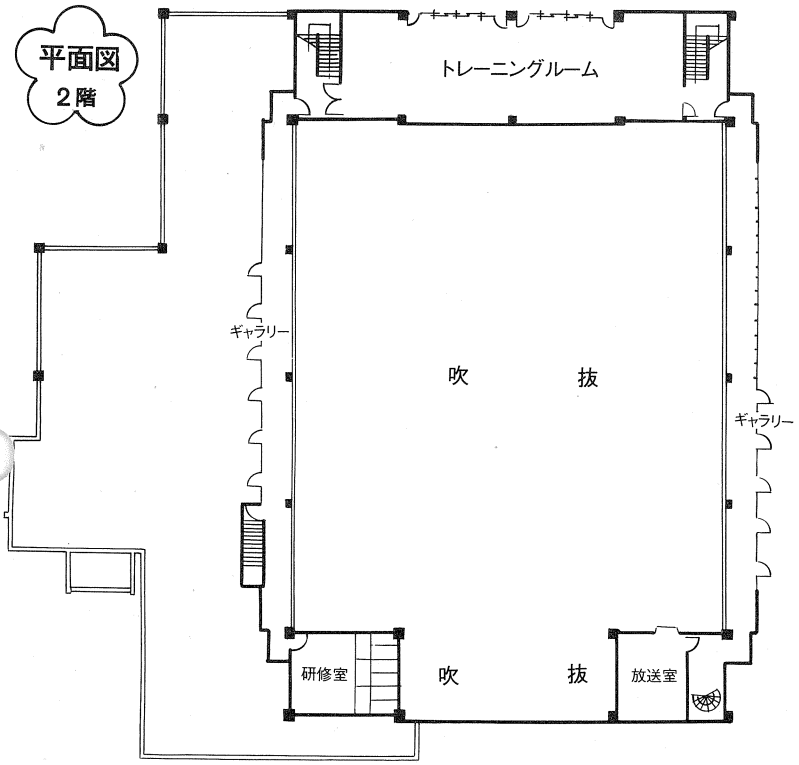
「ファミリースポーツセンターって、どんなとこなの？」と聞かれたとき、私たちは即座に「幼児からお年寄りまでのだれもが、楽しみながら体力づくりができる場所です」と答えます。

そして、「百聞は一見にしかずです。ぜひ一度、足をはこんでみてください」と。

『オレは、スポーツとか運動に縁がないから関係ないヨ。それより、家でテレビでもみてた方が、楽でいいヤ』などと考えておられる〝あなた〟――〝あなた〟のためにこそ、この施設が建設されたといってもよいでしょう。

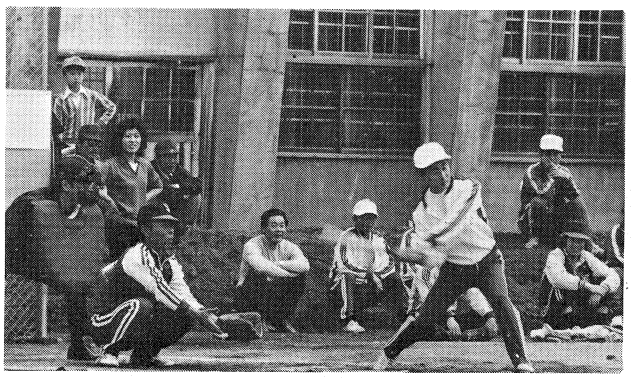
まずは、施設のあらましを写真で見てください。そして、今すぐ腰をあげてください。〝開かれた施設〟があなたを待っています。





階	室名	室数	面積
1	玄関	1	48㎡
	事務室	1	99
	軽食コーナー	1	72
	ロビー	1	179
	医務室	1	22
	便所	2	31
	更衣室	2	64
	器具庫	4	106
	ステージ	1	77
	プレイルーム	1	143
	アリーナ	1	918
	発電室	1	16
	風除室	1	10
2	トレーニングルーム	1	155
	研修室	1	39
	放送室	1	25
	ギャラリー	2	131
	その他		167
計			2,302㎡

熱戦のあと
春季・町技300キソフトボール大会



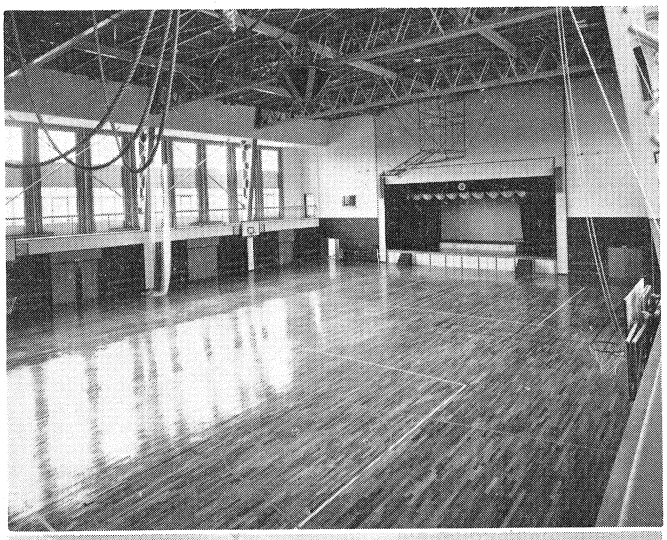
この二十三日、町民センターグラウンドで〝町技ソフトボール大会〟が開かれました。

これは開基九十周年を記念して制定された町技（町のスポーツ）を、広く町民に普及する目的で三年前から行われているもの。

今年から、試合方法として〝三

広報ところ

アリーナ（競技場）
＝写真左上＝



アリーナの面積は、九一八平方㍍で、バスケットボールやバレーボール、テニスの公式試合用に一面、練習用に二面、またバトミントンなら六面、卓球に八面分を使用することができる広さです。

アリーナの前方部には、七七平方㍍のステージがあります。スポーツの練習や大会ばかりでなく、ステージで音楽や演劇の公演が催される場合には、アリーナを客席として、五百のいす席のほか立ち席の五百人を含め、合計およそ一千人の収容が可能です。

また、スポーツ大会の観覧場所用に、二カ所のギャラリーが設置されています。

アリーナの使用については、相当数の希望が見込まれています。このため、町民センターでは、別表＝10ページ＝のとおりの≪利用計画≫を立て、できるだけ多くの人が整然と利用できるようにーと、配慮しています。

なお、アリーナの利用にあたっては、次のことに注意してください。

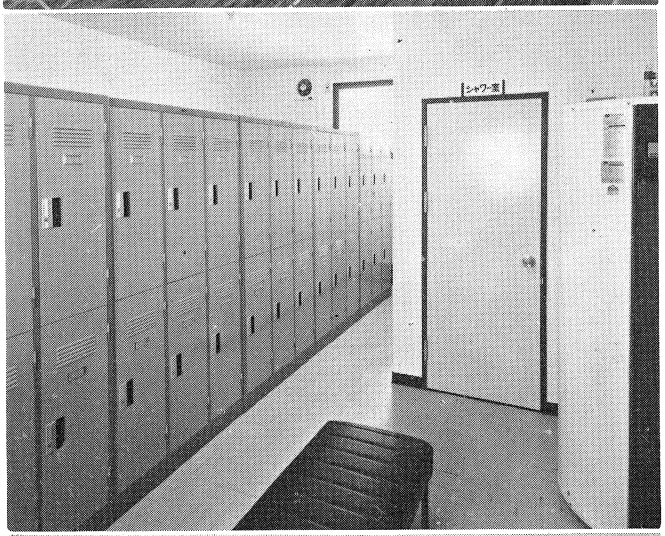
◆運動を目的に利用する場合には、運動ぐつと運動できる服装を着用し、必ず十分な準備運動をしてください。また、アリーナだけでなく、ファミリースポーツセンター内での土足は厳禁です。運動ぐつにはきかえてください。

◆備え付けの器具を使用するとき、施設や使用器具に異常が認められたとき、破損したとき、事故やケガが発生したとき―などは、必ず係員に申し出てください。

◆卓球やバトミントンのラケットや球（羽）は、個人で用意してください。

◆アリーナでの飲食、喫煙は厳禁です。ロビーでお願いします。

更衣室
＝写真左中＝



運動の前に、まずここで着替えてください。この場合、貴重品などはコインロッカーを用い、各自で盗難防止に注意してください。

また、更衣室にはシャワー室が設備されています。運動の後の汗と疲れを、さっぱりと流してください。

ロビー
＝写真左下＝

玄関を入って正面が、広い（一七九平方㍍）ロビーです。

人との待ち合わせや休憩の場所として利用してください。

また、ロビー以外での喫煙は禁止されています。喫煙はロビーで。

百歳方式〟（出場選手の年齢の和が三百歳以上でなければならない）が採用され、十代から六十代までの選手が、世代を超えて白球を追いました。

十一チームが参加、熱戦の末、栄町Aチームが優勝旗を手にしました。秋の大会は十月十日の予定。

◇一回戦◇

豊浜
朝日　7―3　栄町B
弁天

栄町A　9―0　本通
大通

開進A　11―4　末広B
末広A　11―0　開進B
岐阜　8―5　大通西

◇二回戦◇

豊浜
朝日　10―10　新町
弁天　（ジャンケンで決定）

末広A　8―2　岐阜

◇準決勝◇

栄町A　10―0　豊浜
弁天　朝日

開進A　6―4　末広A

◇三位決定戦◇

末広A　不戦勝　豊浜
朝日
弁天

◇決勝◇

栄町A　3―2　開進A

広報ところ

プレイルーム（遊戯室）
＝写真左上＝

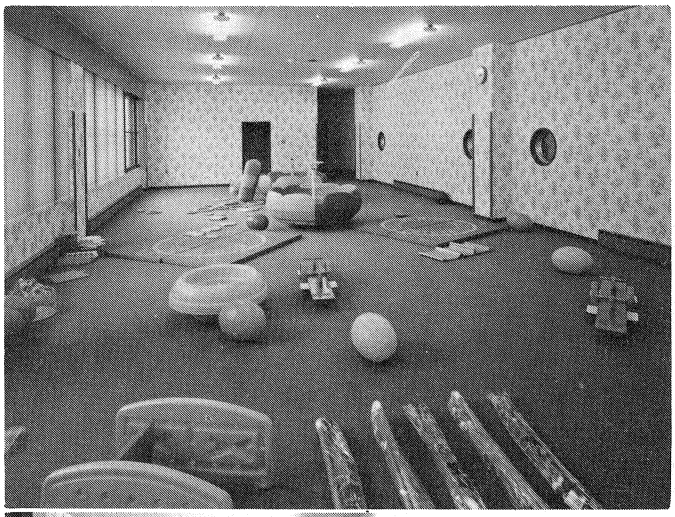
例えば『お母さんが、幼児を連れてママさんバレーボールの練習に来た場合……』

その練習の間に、お子さんが自由に楽しく遊ぶのが、このプレイルーム（遊戯室）です。

ここには、すべり台や積み木、三輪車、シーソーなど、子供たちの夢をふくらませる遊び道具が、たくさんあります。

また、アリーナから子供たちのようすを見ることができる〝のぞき窓〟がついており、お母さん方も安心して運動に励めるようにーと、配慮しています。

なお、プレイルームの利用は、幼児のみに限りますので、ご注意願います。（付き添いの父母が入室することは構いません。）



仮眠室
＝写真左中＝

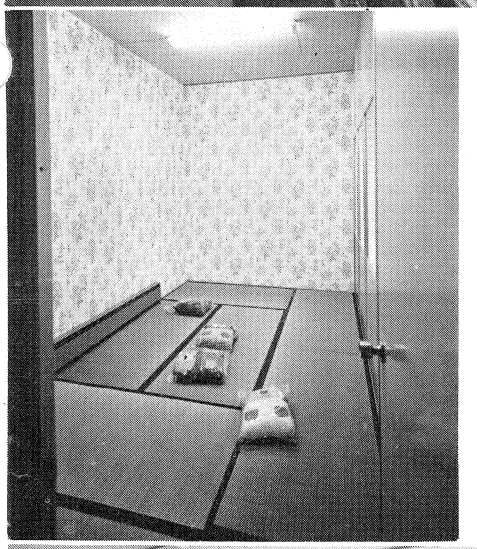
プレイルームで遊び疲れたお子さんの〝お昼寝場〟として、また眠たくて泣く子をあやす場として使っていただくのが仮眠室です。枕と毛布を用意してあります。

会議室（ミーティングルーム）
＝写真左下＝

町民センターで招集する会議のほか、スポーツ大会のときの監督会議やチームの打ち合わせなど、ちょっとした会議に利用していただくのが、会議室（ミーティングルーム）です。

会議室ばかりではありませんが、使用後は、整理整とんを第一に、必ずゴミの処理や後始末を行ってください。

なお、使用する場合には必ず係員の許可を受けてください。



軽食コーナー
＝写真下＝

玄関から入って右側に軽食コーナーがあります。

町民センターを訪れた人の昼食など（カレーライス、コーヒーなどの軽易なもの）を販売するもので、経営は業者に委託しています。清涼飲料水は自動販売機によりますが、タバコは非行防止のため、店売りのみとします。

新しいサークル　混声合唱団

とにかく、みんなで楽しくうたおうーと、常呂町で初めて《混声合唱団》が誕生しました。

結成会には、十代から四十代までの二十人が集まり、まず〝基礎からはじめる〟ことを確認。これまで専門的に音楽を学んできた、四人の指導者を得て、団員一同ひどく意気込んでいます。

当面の目標は『文化祭での、一ステージ程度の発表会』とか。うたいたいと思う人なら、どなたでも…（団員二十人、例会日・毎週水曜日）

役員は次のとおり。

◇団長＝松平樹人（新町）◇副団長＝大沢満智子（栄町）◇事務局長＝鈴木章夫（開進町）◇庶務担当＝銀田哲夫（豊浜）◇企画担当＝山口泉一（大通）◇渉外担当＝田中宏（栄浦）◇会計＝佐竹美智子（大通西）◇監査＝古川花子（末広）辻孝宗（末広）◇指導部＝西井雅司（開進町）鈴木章夫、菅田昌義（開進町）石動千香子（大通西）〔＝以上、敬称略〕

広報ところ

トレーニングルーム
＝写真左上＝

二階には、近代的な運動器具が備えられたトレーニングルームがあります。

運動用の器具は、左下の『別表』のとおりですが、運動能力を測定するものから、より強く、より健康的に美しくあるためのものまで、実に幅広い器具がそろっています。

その幅広さは、町村の施設としては類をみない程であるといわれています。

トレーニングルームには、指導員を配置しますが、器具の中には使い方を誤ると事故に結びつく恐れがあるものも多く、その取り扱いには十分注意してください。

なお、この施設の利用は、原則としておとな五人以上のグループに限ります。また、中学生や高校生が利用する場合は、指導者の引率があるときに限って認めます。

器具の使い方などについて、詳しくは係員にお尋ねください。

区分	器具名	摘要（説明・効果）
測定	握力計	人間の筋力を簡単に測定する
	背筋計	人間が出す大きな力を測定する１方法
	肺活量計	肺機能の測定、全身持久力の判定
	立体位前屈計	柔軟度の測定
	伏臥上体そらし器	
	身長計	体位の測定
	体重計	
	座高計	
	サージャントジャンプメジャー	垂直とび、瞬発力の測定
より強く、より健康的に美しく	セットバーベル	ウエイトトレーニングに使用する主として肩、腕の筋肉の増強に効果がある
	セットバーベルラック	
	スーパーダンベル	
	ダンベルラック	
	フラットベンチ	ウエイトトレーニングのときに使用するベンチ
	ランニングトレーナー	心肺機能を増強し、走力、ペース配分力を養成
	エクササイクル	脚力をつけ、筋持久力・心肺機能を増強
	ローイングマシン	上腕筋、脚力、心肺機能を高める
	スタイリー	美容、健康美（ぜい肉をとり、筋肉をひきしめる）
	チエストウエイト	胸筋のバランスのとれた発達と筋力の増強
	ハイロウローラ	太りすぎ防止、疲労回復、肩こり解消
	バレルローラ	
	ベルトバイブレーター	ぜい肉、皮下脂肪をとり、曲線美を保持
	コンビネーショントレーナー	各種の運動をセットにして実施できる
	ヒップアンドタイトリマー	ぜい肉をとり均整を保持
	助木	筋力を増強
	ツイストマシン	体測、ウエストのぜい肉をとり、バランス感覚、柔軟性を養成
その他	準備運動マット	
	ゴムマット	

第2体育館・団体室・研修室
付属施設

ファミリースポーツセンターの付属施設として、第二体育館（旧常呂中学校体育館）と団体室、研修室があります。

いずれも旧校舎を、一部改修して使用するもので、主に各種団体の活動の場となる計画です。

第二体育館の利用については、さきにふれました＝4ページ＝が、当面は卓球と剣道、バスケットボール関係の団体が利用します。

また、団体室は二部屋で、一室を体育協会の各サークルが用具入れロッカー室として、他の一室はボーイスカウトが、それぞれ利用します。

一方、研修室は三部屋あり、各種大会の選手控室や、スポーツ理論の学習、講話の教室、団体の会議室などとして、有効に活用することにしています。

これらの施設は、今後さらに整備、充実させていく計画です。

新しいサークル ところ文芸

文芸作品を通して、人生を語り膚のふれあいを求めようーと、このほど発足したのが《ところ文芸サークル》

タイヤキ君ではないが、毎日、毎日、忙しく仕事に追いたてられていると、なかなか文庫本の一冊ひもとこうとはしなくなってしまう。《ところ文芸》は、そうした意味でのカンフル剤だといえる。

とは言っても、難しく、こうるさい理論を闘わせる場ではなく、自由に自分の心を語り、他人の声を知り、ときに気がのれば文章にでも表現してみようかーという、実にアット・ホームな感じなのです。（会員十八人、例会日・毎月第三木曜日）

役員は次のとおり。

◇会長＝露口功（開進町）◇副会長＝笠井操（末広）◇事務局長＝長谷川京（開進町）◇庶務担当＝辻孝宗（末広）◇会計担当＝畠山笑美子（大通西）◇会計監査＝宮前邦夫（栄町）高橋富佐子（開進町）〔＝以上、敬称略〕

団体での利用は10日前に　申し込みの方法

町民センターを利用する場合には、必ず事前に《使用許可》を受けてください。

使用許可の申請方法は、利用する目的や利用主体の種類などによって変わります。

まず、町民がひとりで利用するときや家族で利用する場合などには、センターの窓口に備え付けてある《利用簿》に、**左の要領**で記入してください。

左の〝記入例〟が示すとおり、利用簿には①月日②名前と、所属している団体があればその団体名③利用する人数④年齢または学年⑤利用目的⑥使用する備品や器具があればその名前⑦利用時間―を明記してください。

利用簿に記入せずに入館している場合には、退館してもらうこともあります。

★

一方、グループや団体が定期的に使用する場合や、町民センターの目的以外の目的で使用する場合などには、使用する日の十日前までに《団体使用申請書》を提出してください。

また、目的外使用にあっては、あわせて〝使用計画書〟を添付しなければなりません。

なお、どのような形で使用する場合にも、町民センターの中では計画書に記入されているもの以外の販売や、寄付の募集、公序良俗に反する行為などを行ってはならないことになっています。

詳しくは、町民センター〔電話2191番〕にご相談ください。

★町民センターは、町民みんなの財産です。利用するときは、きまりを守り楽しい場にしましょう。

記入例

利用簿

月日	氏名および団体名	人数	年齢	目的	使用備品器具	使用時間
6／1	山口百恵（バレー協会）	2	18	バレーボール	ボール、ネット	9：00 12：00
／	野口五郎（バレー協会）	↓	23	〃	〃	〃
／	西城秀樹（卓球協会）	4	24	卓球	卓球台、ネット	13：00 17：00
／	にしきのあきら（卓球協会）	｜	25	〃	〃	〃
／	岡田奈々（卓球協会）	｜	17	〃	〃	〃
／	西川峰子（卓球協会）	↓	18	〃	〃	〃
／	仲谷昇（文化連盟）	3	42	バトミントン	なし	18：00 21：00
／	岸田今日子（ママさんバレー）	｜	36	〃	〃	〃
／	仲谷綾	↓	4	プレイルーム	〃	〃
／	大原みどり（うた声サークル）	1	22	美容体操	なし	18：00 21：00

用程利日　アリーナ、一般開放に重点　休日の翌日は休館

町民センターは、広く町民のみなさんに開放されています。

常呂町民ならば、誰もが気軽に利用できる、親しみのある施設として、現在準備をすすめています。

開館時間は、午前九時から午後九時までの十二時間（日曜、祝祭日は午後五時まで）で、日曜、祝祭日にも開館します。

休館日は、毎週月曜日と祝祭日の翌日、年末二十九日から正月五日までとなっています。

下の表で示したのは『アリーナ（競技場）の利用計画』です。

この表が示すとおり、利用計画では、個人やグループなど、一般の人への開放に重点をおいています。

また、各サークルなど団体での利用は、火曜から金曜までが午後一時から九時まで、土曜は午後一時から五時までとなっています。

気軽に利用してください。

時間帯＼曜日	月	日	土	金	木	水	火
午前 9時～正午	休館日	一般開放	一般開放	一般開放	一般開放	一般開放	一般開放
午後 1時～5時		閉館	団体	団体	団体	団体	団体
夜間 6時～9時							

子供からおとなまで
みんなで

演劇をしませんか

ところ町民劇場（仮称）
◇連絡先　町民センター（2191）

春風にのって
湖は夢をはこぶ
あなたとあなたが愛する人のために

町民ピクニック

6月6日（日）サロマ湖畔

使用料

町民の一般利用は無料

料金、公共性などを加味

町民センターを、町民のみなさんがスポーツや文化活動などのために使用する場合には、もちろん無料です。

しかし、町民の健康や文化の向上以外の目的――例えば興行を目的としたショーなど――で使用する場合には、使用料が必要です。

使用料は左下の表のとおりですが、国や公共団体などが使用する場合や、センター所長が特別に認めた場合などには、使用料を減免することもあります。

使用料については、公共性などを加味し、営利を目的とするかどうか、入場料の有無などで、それぞれランク付けをしています。

使用料は、申し込みの際に納めることになっていますので、詳しくはそのときにご相談ください。

備品使用料		
備品の種類	区分	使用料
舞台照明	1回（4時間以内）	三千円
放送設備		二千円
ワイヤレスマイクセット		千円
スポットライト		二千円

区分			使用時間帯 午前 9時～正午	午後 1時～5時	夜間 5時～9時	昼夜 9時～9時
アリーナ（競技場）	アマチュアスポーツ、レクリエーションなどに使用する場合	入場料が無料の場合	1,000円	1,500円	2,000円	4,500円
		入場料が有料の場合	3,000	4,500	6,000	12,000
	プロスポーツなどに使用する場合 営利を目的とする場合	入場料が無料の場合	10,000	20,000	30,000	60,000
		入場料が有料の場合	20,000	40,000	60,000	120,000
	営利を目的としない場合	入場料が無料の場合	4,000	5,000	7,000	16,000
		入場料が有料の場合	6,000	9,000	12,000	25,000
各種目的室	ミーティングルーム		1,000	1,000	2,000	3,000
	研修室		500	500	1,000	2,000
	トレーニングルーム（1人当り）		50	50	100	200
	プレイルーム（1人当り）		20	20	20	200

一日オープンにどっと八百人

世代を超えて楽しむ

二十二日の〝一日オープン〟におよそ八百人の町民がつめかけ、広いセンターいっぱいを、自由に跳びまわっていた。

午後一時にセンターの扉があけられると、開館を待ちかねていた小、中学生がニコニコ顔で入館、広く、立派な施設に喚声をあげていた。

入館者は各施設をひと通り見学したあと、学校の二倍近くはあるアリーナにさっそく飛び出し、トランポリンや球技で楽しんだ。

一方、夕方にはおとなも大勢訪れ、すがすがし気に汗を流していた。トレーニングルームでは、数人のお年寄りが珍しい器械に元気に挑戦、のびやかに腰を伸ばす光景もみられ楽しい一日となった。

あたたかい心 ―寄付―

町民センターの建設にあたりましては、多くの方からご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。

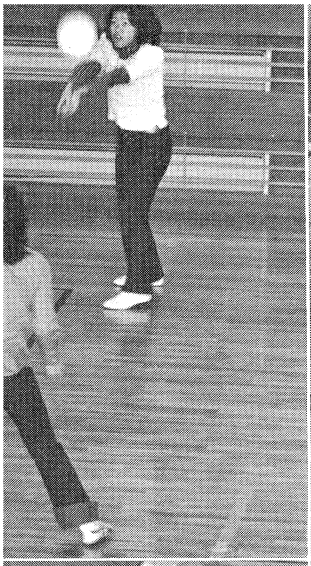
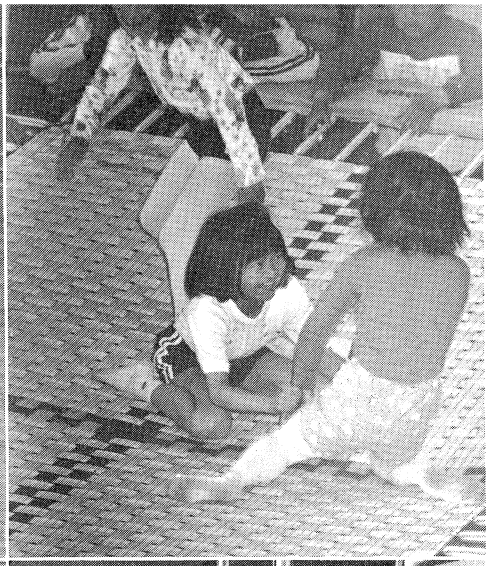
★初代町長、小林千代松さん（札幌市）から寄せられた善意が、ロビー中央の《希望の像》＝写真左＝です。

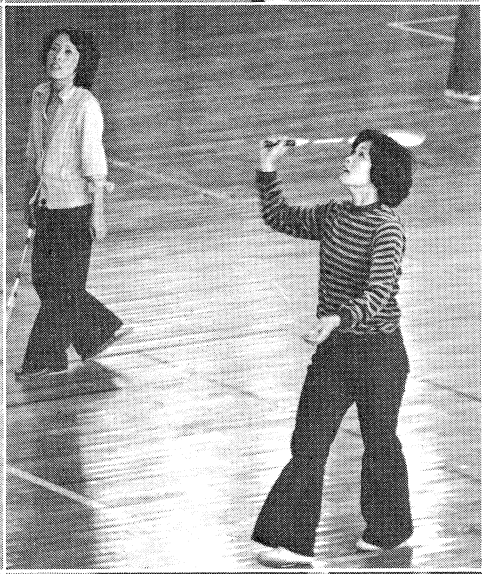
青銅の像で、作者は砂原放光さん（高岡市・日展入選彫刻家）

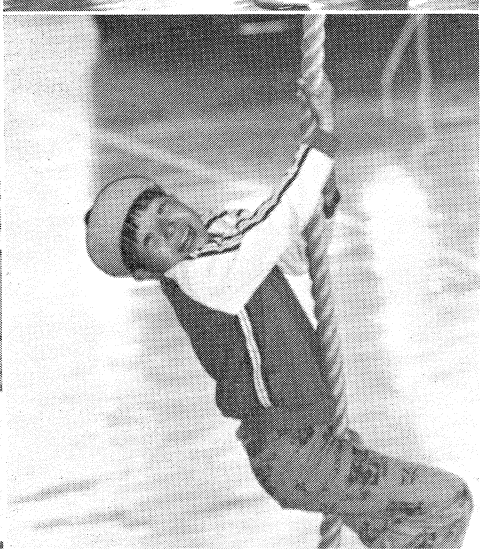
右手は高だかと天を指し、力強い未来への躍動を感じさせます。

★その他、次の方がたからご寄付をいただきました。

◇黒滝忠知さん＝美幌町◇大平寿美子さん＝開進町◇網走砂販売㈱様◇前浜水泳場監視協力会様◇イワクラ・牧村共同企業体様◇榎本誠さん＝大通西





常呂町民憲章

私たちは，森と海と湖の大自然の中に理想郷を求める常呂町民です。

何千年も昔から，常呂遺跡を守りぬいた「かしわなら」の林のように，オホーツクの風とイワケシの雪にもまけず，サロマ湖のように澄みきった心で，私たちは，未来への大きな夢と願いをこめて，住みよい郷土を築くためにこの町民憲章を定めます。

1，体をつよくし，心すこやかな明るい町にしましょう。

1，自然を愛し，清潔な住みよい町にしましょう。

1，恵みを喜び，互いに敬い助けあう町にしましょう。

1，きまりを守り，楽しく平和な町にしましょう。

1，仕事に誇りをもち，豊かに働ける町にしましょう。

■印刷　(株)印刷センターコバヤシ